

## 学修目標

専門性の高い補綴処置の臨床術式について理解を深める。全部被覆と部分被覆の利点、欠点について理論的に考察する。咬合、咀嚼障害の病態を把握し、適切な補綴処置を実践できることを目標とする。審美歯科学、接着歯学、高齢者歯科学、歯科技工学、歯科理工学など、関連分野の進歩が歯科補綴学に与えた影響を学び、補綴処置に活かせることを目標とする。さらに、教員が所属する学会の専門医、認定医に関連する講義および教育関連の講義を行い、大学院在学中に各種資格取得への道筋を整える。

■教科書： 指定なし。教員が資料を配付する。

■参考書： GPT-9, The Journal of Prosthetic Dentistry,  
新素材による接着ブリッジの臨床（ヒョーロン）他

■オフィスワーク： 松村 英雄 月曜日 17:00～19:00

小峰 太 水曜日 17:00～19:00

野川 博史 木曜日 17:00～19:00

本田 順一 金曜日 17:00～19:00

■成績評価： 出席，報告書の提出をもとに採点する。

■注意事項： 開講日，開講時間は教員と履修者の話し合いで変更も可とする。

■準備学習： 講義前に配付資料に目を通し，講義内容と目的を理解しておくこと。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第1回 4月2日(火) 松村 英雄 野川 博史	咬耗, 摩耗と補綴	咬合の経年的変化に対応した補綴装置の選択について学ぶ。歯の咬耗, 歯冠修復材料の表面性状と摩耗の関係について理解を深める。
第2回 4月9日(火) 松村 英雄 野川 博史	口腔保健学(口腔保健技工学) 専攻学生等に対する教育方法論	歯科技工士の資格を有する学生に対し, 補綴・理工系歯学を教授する際の方法論と要点について学ぶ。
第3回 4月16日(火) 松村 英雄 野川 博史	口腔保健学(口腔保健衛生学) 専攻学生等に対する教育方法論	歯科衛生士の資格を有する学生に対し, 補綴・理工系歯学を教授する際の方法論と要点について学ぶ。
第4回 4月23日(火) 小峰 太	支台歯形成スキル アップ	補綴難症例における支台歯形成のポイントについて学ぶ。開口障害患者, 大臼歯遠心面, 智歯支台歯, 分割歯の形成などを理解する。
第5回 5月7日(火) 小峰 太	オールセラミック修復	アルミナ, ジルコニアと陶材を用いた補綴処置について, 適応と禁忌, 術式, 材料の選択, 装着, 術後管理について理解する。
第6回 5月14日(火) 松村 英雄 本田 順一	支台築造アドバンス編	症例, 部位に応じた支台築造法について, 適応, 術式, 材料の選択, 接着または装着, 支台歯としての活用, などを理解する。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第7回 5月21日(火) 松村 英雄	接着ブリッジ	接着ブリッジについて、侵襲の少ない形成、フレームワークの設計、エナメル質と貴金属合金の表面処理、装着材料の使用法、術後管理について学ぶ。
第8回 5月28日(火) 小峰 太	カラーレス陶材焼付 鑄造冠	審美的なメタルセラミックスの基本原則について、頬側面のフィニッシュライン、フレームワークの構造、対合関係について理解する。
第9回 6月4日(火) 松村 英雄 本田 順一	コンポジットレジ 前装冠	高密度フィラー充填型コンポジットを前装、外装材料として使用する際の適用、表面性状の管理、装置のメンテナンス等について学ぶ。
第10回 6月11日(火) 松村 英雄	オーバーキャスト ング	多数歯にわたる固定性補綴装置の部分的補修について、適応と禁忌、術式、使用材料等を理解する。
第11回 6月18日(火) 松村 英雄	ポーセレンラミネ ートベニア	焼成陶材によるポーセレンラミネートベニアの支台歯形成、外形の設計、エナメル質と陶材の表面処理、装着材料の選択と使用法、術後管理について学ぶ。
第12回 6月25日(火) 松村 英雄 本田 順一	補綴装置の臨床 成績評価	USPHS criteria 等による補綴装置の臨床評価の意義、臨床的文献と診療ガイドライン、臨床成績とEBMの関係等を理解する。
第13回 7月2日(火) 小峰 太	インプラントと 歯冠補綴	インプラント体埋入後の上部構造構築について、症例を通じて理解を深める。
第14回 7月9日(火) 小峰 太	固定性補綴関 連の専門医	歯科補綴学関連の専門医、認定医制度の内容、試験、症例報告の基本、取得条件、研修等について学ぶ。
第15回 7月16日(火) 松村 英雄 井出 勝久	医療機器の承認、 認証と補綴処 置	医療機器のクラス分類、承認と認証など、製品毎の設計検証と臨床歯科理工学の考え方を学ぶ。材料、器械、技術の健康保険適用についての理解を深める。